



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月27日

上場会社名 さくらインターネット株式会社

上場取引所 東

コード番号 3778 URL <http://www.sakura.ad.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 川田 正貴

TEL 06-6265-4830

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,486	6.3	524	△17.7	454	△24.1	245	△33.5
25年3月期第3四半期	7,041	3.0	637	△10.0	598	△9.2	369	△13.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	28.34	—
25年3月期第3四半期	42.62	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	14,228	3,376	23.7
25年3月期	12,513	3,174	25.4

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 3,376百万円 25年3月期 3,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,950	4.9	620	△28.5	520	△36.0	280	△41.5	32.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	8,677,600 株	25年3月期	8,677,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	111 株	25年3月期	111 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	8,677,489 株	25年3月期3Q	8,677,535 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成26年1月27日に機関投資家及びアナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)につきましては、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、海外景気の下振れリスクが依然として存在するものの、円高是正による輸出産業の収益改善や政府の経済対策・金融政策の効果などもあり、緩やかな回復が続いております。

当社の属するデータセンター市場においては、クラウドサービスの利用拡大、災害対策やバックアップ体制の強化を目的としたITインフラのアウトソーシング需要の高まりなどを背景に、安定した成長が続いております。一方、前事業年度より首都圏内のデータセンター新設・増設が相次いでおり、ハウジングサービスなどの価格競争は一段と厳しさを増しております。

こうした状況のもと、当社はコストパフォーマンスに優れたデータセンターサービスを、多様なラインナップで提供することにより、他社との差別化を図ってまいりました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,486,558千円(前年同期比6.3%増)となりました。

営業利益につきましては、売上高は増加したものの、石狩データセンターの稼働スペース拡大や将来の事業成長に必要な人材確保に伴う経費の増加などにより、524,571千円(前年同期比17.7%減)となりました。

経常利益につきましては、営業利益の減少や設備投資資金の調達に伴う支払利息の増加などにより、454,651千円(前年同期比24.1%減)となりました。

四半期純利益につきましては、経常利益の減少や都内データセンターの一部縮小に伴う減損損失の計上などにより、245,881千円(前年同期比33.5%減)となりました。

サービス別の状況は以下のとおりです。

なお、第1四半期会計期間より、サービス別売上高の分類変更を行っております。このため、以下の前年同期比較につきましては、前年同期実績値を変更後の分類に組み替えて行っております。

① ハウジングサービス

石狩データセンターで提供する大規模ハウジング案件の売上成長があったものの、都内データセンターを利用する大口顧客の解約が発生したことなどにより、ハウジングサービスの売上高は2,286,013千円(前年同期比0.8%減)となりました。

② 専用サーバサービス

大型案件の複数受注もあり「さくらの専用サーバ」は順調に売上を伸ばしておりますが、旧サービスの解約が続いたことなどにより、専用サーバサービスの売上高は1,980,625千円(前年同期比8.6%減)となりました。

③ レンタルサーバサービス

競争力強化のため、機能強化や初期費用無料キャンペーンを実施したことで、着実にユーザ数を積み増した結果、レンタルサーバサービスの売上高は1,603,406千円(前年同期比12.2%増)となりました。

④ VPS・クラウドサービス

自由度の高さと優れたコストパフォーマンスが評価され、引き続き「さくらのVPS」と「さくらのクラウド」の双方で多くのユーザを獲得したことにより、VPS・クラウドサービスの売上高は866,053千円(前年同期比73.1%増)となりました。

⑤ その他サービス

ハウジングサービスの新規顧客に提供する機材の大口販売が発生したことや、ドメイン取得サービスの売上が引き続き好調を維持していることなどにより、その他サービスの売上高は750,460千円(前年同期比17.1%増)となりました。

※ サービス別売上高の分類変更

前事業年度まで「その他サービス」に含まれていた「さくらのクラウド」と、「VPSサービス」に含まれていた「さくらのVPS」は、共に仮想化技術を活用したサービスであり、共通する特性も多いことから、第1四半期会計期間より売上高を統合し、「VPS・クラウドサービス」として分類することといたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 資産

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ1,715,777千円増加し、14,228,927千円(前事業年度末比13.7%増)となりました。主な要因は、石狩データセンターの稼働スペース拡大など、各データセンターの設備強化とサービス機材調達に伴う建物や有形リース資産の増加です。

② 負債

当第3四半期会計期間末の負債の合計は、前事業年度末に比べ1,513,283千円増加し、10,852,229千円(前事業年度末比16.2%増)となりました。主な要因は、石狩データセンターの稼働スペース拡大など、各データセンターの設備強化とサービス機材調達に伴うリース債務の増加です。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末の純資産の合計は、前事業年度末に比べ202,493千円増加し、3,376,697千円(前事業年度末比6.4%増)となりました。主な要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加です。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月26日付「平成25年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表した通期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間において売上高、利益ともに想定を下回ったことから修正しております。詳細は、本日(平成26年1月27日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,299,108	2,162,923
売掛金	463,923	596,989
貯蔵品	384,179	442,401
その他	481,671	592,515
貸倒引当金	△18,146	△38,954
流動資産合計	3,610,737	3,755,875
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,880,202	5,082,739
工具、器具及び備品(純額)	1,189,229	912,977
土地	378,133	438,976
リース資産(純額)	1,929,131	2,479,299
建設仮勘定	72,135	—
その他(純額)	66,655	61,471
有形固定資産合計	7,515,487	8,975,464
無形固定資産		
ソフトウェア	106,684	129,672
ソフトウェア仮勘定	724,413	809,558
その他	7,387	27,570
無形固定資産合計	838,485	966,801
投資その他の資産		
投資有価証券	21,600	27,236
長期前払費用	30,512	32,488
敷金及び保証金	446,709	412,269
その他	49,616	58,790
投資その他の資産合計	548,439	530,785
固定資産合計	8,902,412	10,473,051
資産合計	12,513,149	14,228,927

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	254,022	407,600
短期借入金	80,000	288,000
1年内返済予定の長期借入金	653,126	632,666
リース債務	821,471	1,021,707
未払金	423,994	449,281
未払法人税等	214,381	142
前受金	1,980,678	2,032,915
賞与引当金	110,655	63,708
資産除去債務	—	15,959
その他	458,895	385,486
流動負債合計	4,997,224	5,297,466
固定負債		
長期借入金	2,548,591	2,071,475
リース債務	1,342,413	3,130,780
資産除去債務	93,243	90,172
その他	357,472	262,333
固定負債合計	4,341,720	5,554,762
負債合計	9,338,945	10,852,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	895,308	895,308
資本剰余金	250	250
利益剰余金	2,278,713	2,481,207
自己株式	△67	△67
株主資本合計	3,174,204	3,376,697
純資産合計	3,174,204	3,376,697
負債純資産合計	12,513,149	14,228,927

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,041,543	7,486,558
売上原価	5,132,816	5,583,965
売上総利益	1,908,727	1,902,592
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	391,730	433,562
賞与引当金繰入額	27,071	28,756
貸倒引当金繰入額	—	23,154
その他	852,643	892,547
販売費及び一般管理費合計	1,271,445	1,378,021
営業利益	637,281	524,571
営業外収益		
受取利息	620	323
技術指導料	5,042	4,792
貸倒引当金戻入額	1,649	—
還付加算金	2,539	—
設備負担金収入	12,782	—
その他	2,177	1,880
営業外収益合計	24,812	6,997
営業外費用		
支払利息	56,266	69,378
その他	7,073	7,537
営業外費用合計	63,339	76,916
経常利益	598,753	454,651
特別利益		
固定資産売却益	309	—
国庫補助金等収入	50,000	—
特別利益合計	50,309	—
特別損失		
固定資産除却損	9,281	19,389
固定資産圧縮損	48,638	—
減損損失	10,195	32,635
特別損失合計	68,115	52,024
税引前四半期純利益	580,947	402,627
法人税、住民税及び事業税	212,732	157,330
法人税等調整額	△1,577	△584
法人税等合計	211,154	156,746
四半期純利益	369,793	245,881

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。